

これからの学校と地域

第1号

学校と地域が力を合わせて子どもを笑顔に！



子どもたちの成長には
地域や保護者の皆様の
力が必要です

未来を担う子どもたちを心豊かに育むためには、学校と地域がパートナーとして力を合わせ子どもたちに関わることが大切です。

矢板市教育委員会は、地域や保護者の皆様とともに子どもたちを笑顔にする取組を進めています。

学校と地域が力を合わせることでこんな効果が期待できます。

子どもにとって

- ・体験活動等の学びが充実します。
- ・ふるさとを大切に思う気持ちが高まります。



学校にとって

- ・学校を理解し支えてくれる方々が増えます。
- ・地域と協働体制が作られます。



保護者にとって

- ・地域とのつながりが深まります。
- ・地域で子どもが育まれる安心感が生まれます。



地域にとって

- ・子どもたちの成長に関わる喜びが得られます。
- ・互いに知り合い助け合う地域になります。



地域連携マイスター
鈴木 廣志 先生
活動のねらいを、学校と地域が共有することが大切です。



連携推進会議の様子
本事業の実施計画を検討、モデル校における支援の内容を話し合いました。

栃木県教育委員会は学校と地域の連携協働体制づくりを支援するため、令和2年度「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」という新たな事業をスタートさせました。事業最終年度の今年度は、矢板市立矢板小学校をモデル校に指定し、矢板小学校の取組をバックアップしています。現在は「地域とともにある学校づくり」を中心に支援を進めています。

県教育委員会も
バックアップ



頑張る学校・地域！応援プロジェクト 連携会議を開催！



9月27日（火）に矢板小学校において、頑張る学校・地域！応援プロジェクト連携会議を開催しました。読書活動とおして、学校、家庭、地域の代表者が何か連携・協働活動ができないかと話し合いました。「**読書で心豊かな子どもを育てよう**」という目標を共有し、どんな活動ができそうか、活発に意見を交換しました。

学校と地域の連携の第一歩

地域の人たちと1つの目標に向かって話し合うということはなかなかできないことなのでとても有意義でした。

今後も保護者の方や地域の方とコミュニケーションをとることができたらうれしいですね。

学校や各家庭、地域の方と一緒に本に触れる機会ができると子どもたちも読書が楽しくなると思います。

地域の方と話し合う機会では新しい発見が多く、わくわくしました。きっと子どもたちもそういう日常を待っているのではないかと思います。

連携会議に参加してみても

様々なアイデアが出たように思います。視点を広げるよい機会となりました。



地域の方々に、読書の新たな考え方を教えていただくことができ大変ありがたかったです。

このような取組を進めていることを保護者の方にも知ってもらうことが必要だと思います。「絵本の読み聞かせ」について知ってほしいです。

他の地域の取組がありましたら知りたいと思いました。

普段お話しする機会のない方々と意見を交換し合いながら貴重な時間を過ごすことができました。ぜひ子どもたちや学校のために一つでも多く実践できるといいなと思います。

次号は具体的な活動や取組を紹介する予定です。